

平成 26 年 6 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

消費税増税の影響については「薄れてきた」との報告の一方で、「消費税の転嫁が難しい」、「次の 8% から 10% への移行が問題」としている。

一般機器では、メーカーの海外進出で、技術・ノウハウが流出し、価格面に加え、技術、品質さらには納期までも差が少なくなったとの報告である。

窯業・土石製品、輸送機器と建設業では、仕事量はあるが、人員・人材の確保が非常に難しく、思うように解消できない状況が続いている。

県内企業は、依然として続く燃料費、原材料費の高止まりや人件費の高騰等コストアップは避けられない状況にあり、景気の先行きは不透明で引き続き今後の動向に注視が必要である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 6 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：8.8% 悪化：31.3% DI 値：▲22.5% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）






前年同月比は、増加：13.8% 減少：35.0% DI 値：▲21.2% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）


前年同月比は、好転：5.0% 悪化：33.8% DI 値：▲28.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 6 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲29 以上	 ▲30 以下
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲50.0	▲16.6	11.1	50.0	▲15.2
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲40.0	▲22.2	▲50.0	▲41.7	30.0	▲71.4	▲27.6
						

全 体
▲22.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の高騰が止まらない。消費税増税による極端な買い控えは無いが、顧客の店舗選択の厳しさを感じている。	パン・菓子製造業
	5月は最終+10.2%と前年同月を大幅にクリア。6月も6/24現在で昨年対比+3%程度クリアしている。日本テレビ系「ヒルナンデス」のロケ収録など、6月も毎週のように全国番組のロケが続いている。フジテレビ系報道番組の2か月間密着ロケもようやく終了し、7月中旬にオンエアが予定されている。7/17（木）はNHK中国5県ネット「ひるまえ直送便」にもスタジオ生で登場予定。九州じゃらんの「九州道の駅ランキング2014」でお土産部門1位、食事部門5位とエリア外であるにもかかわらず上位ランキングを獲得した。	水産食料品製造業 萩市
	さまざまな資材、原料の価格が上がっており、これからお中元までをどのように売っていくかがポイントとなる。	水産食料品製造業 下関市
	国際的な原油価格等の上昇に伴い、ガソリン等燃料費の増加が経営を圧迫している。将来的には、そのほかの原材料価格にも波及すると考えられ、今後、対策が必要となると考えられる。地球温暖化の進展に伴い、過去に例を見ないような大型台風が発生するようになり、今後が心配される。	精穀・製粉業
繊維工業	ここにきて再び、業界の状況が下降気味で、商品の動きが悪い。キャンペーンなどシーズン商品も懸命の展開を試みているが厳しい状況で、シーズン商品以外も店頭での売れ行きが伸びていない。	下着類製造業
	燃料や素材、資材が高騰している。消費税増税分とコスト高騰分の価格転嫁が重なると商品価格が高くなり、消費の減退を招くので、避けたいのが実情。	外衣・シャツ製造業 山口市
	受注状況は、遊ばない程度に埋まっている。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工戸数は、前月と同じく微減。木材価格も下降気味で推移している。	製材業・木製品製造業 山口市
	今年の4月～5月は消費税増税前の駆け込み需要分の納品もあって前年より良かった。梅雨時期の6月は例年売上が落ちる時期で、例年の状態に戻っている。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	3月までの受注は消費税増税もあり引き合いも多かった。4月以降はその反動を考慮しても落差が大きく、業界の景気基調は相変わらず厳しい。	印刷 下関市

	連休の多かった5月に納品が出来なかった商品の売り上げで、数字こそ昨年同様であったが、実際は6月受注、6月売上ではないので年間を見ると昨年より落ち込んでいる。	印刷 山口市
窯業・土石製品	対前年同月比は、骨材151%、路盤材103%、再生材68%、全体で124%の出荷量となっている。骨材の売上は伸びたが、再生材の売上は減少している。災害復旧工事が続いており、仕事をキャンセルする程ではないが、人手不足が続いている。	砕石製造業
	出荷量は、前月比90%、前年同月比120%。(一部地区において前年度比が大幅に増加したことによる。)現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、大きな問題は生じていないが、原材料価格の値上げ圧力が、高まる傾向にある。	生コンクリート製造業
	人口が少ない町の仕事量が減る傾向にある。ジワジワと高齢化の影響が出ている。	石工品製造業
一般機器	作業工程は変わらないのに、受注単価が安くなっている。そのため、収益が上がらず、厳しい状況である。	一般機械器具製造業 岩国市
	引き続き景気は上向き傾向。イラクの内戦によりガソリンが値上がり、関連して原材料費も10%前後値上がり、コストアップとなっている。これに対応するため、新規取引先の開拓に励んでいる。	一般機械器具製造業 防府市
	自動車、機械製造関係企業の設備の稼働率は上昇傾向にあり、人手不足から引き続き外国人技能実習生受け入れの相談や、つなぎのための臨時職紹介の依頼を受けることも多い。また、企業の海外展開に伴う人材確保として、外国人留学生の紹介の依頼もある。	一般機械器具製造業 宇部市
	販売価格が上昇しているにも関わらず、収益が悪化しているのは、燃料や資材の高騰、人件費の上昇によるもの。	一般機械器具製造業 周南市
	金型の設備操業度は5月度に比べやや下がった状態。6月受注は後半になりリピート金型(2型)他が決り、7~8月の設備操業度は上昇の見込み。7月以降の受注も商談案件が有り、受注出来る方向。しかし、生産は計画通りに進むが、なかなか納品先のOKがもらえないのが金型製造業の悩みである。7~12月下旬は、8月以降の動きが掴めないので予想できない状況である。今、元気のいい会社は自動車(HV、EV関連のモーター関連企業)、医療関係である。一昨日、大阪のアークという金型メーカーがオリックスに買収されるとの報道があったが、金型業界は非常に厳しい環境にあり、金型メーカーの海外進出で、中国を始め東南アジア各国へ技術・ノウハウが流れて行っているのが現状。価格面は海	特殊産業用機械製造業

	外メーカーに勝てない状況で、技術も上がり、品質・納期についても差が少なくなり、海外メーカーの受注も増えてきている。日本でしか出来ない品質の良いものづくりをしていかなければ取り残される。成形製品の生産状況は、新規案件製品の立ち上がり等、生産品種形態が変化している状況の中、多品種少ロット生産、品質、納期に順応して受注増に期待しているところである。	
輸送機器	操業度が上昇しているが、仕事量増に伴う、人員の確保が非常に難しい。	船舶製造・修理業
	全般に作業量が増加して来ているが、売り上げ等上昇という段階までは達していない。また、ここに来て精密加工部門の作業量が減少しており暫く低迷する見込みである。プラント部門はこの夏以降、人手不足が心配される。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	このところ、燃料価格が急騰している。消費税増税後も高い価格で推移しており、今後、消費者の消費の低迷が懸念される。	各種商品小売業 山口市
	ガソリン価格が高騰し各業種とも苦慮している。売上については、消費税の影響は卸売業の場合は殆どない。	各種商品小売業 下関市
	加工海苔の需要は、個人用が減少し、業務用に極端に偏っている。消費者からの食の安心・安全に対する強い要求（高品質の保持や生産者の指名出荷等）も厳しく、手間とコストがかかる状況であり、全体的な海苔需要の不振の中で、収益が悪化している。	乾物卸売業
	アジ等の旬な魚が獲れず、例年の3分の1程度の入荷量となっている。業界は消費税の転嫁が難しく、仕入価格を安く抑えるため、セリの落札価格が安くなり、生産者には苦しい状況である。	生鮮・魚介卸売業
小売業	6月16日、岡山での中国ブロック大会に山口県からは8名が出席した。実習を含んだCRCフォーラムの同時開催で、多数の女性会員の参加があった。業界は、「真の専門店を目指そう」を合言葉に活動を続けている。少しずつだが、景気も回復に向かっている。	化粧品小売業

	<p>消費の原動力である消費人口が毎年微減しており、地域経済の活力に欠けるので、中長期的な地域づくりが必要となっている。地区の小売業は、消費税増税の影響が薄れ、売上も次第にもどりつつあるが、大型店やディスカウントショップとの競争で経営自体は苦しい状況。小売業からは、消費税増税の話題は聞かなくなったが、今後は、10パーセントに移行するときに問題である。電気器具店では、国内メーカーの多機能家電より黒船家電が人気で、用途に特化した商品が売れ筋となっている。地区の求人倍率は上昇しているが雇用のミスマッチがあり、特に建設・警備・介護・飲食業で人手不足で、景気の足を引っ張っており、今後は、人件費の上昇につながりそうである。仕事は有るが事業者が消化出来ずにいる。警備会社では、警備の需要は多いが従業員の確保が出来ず、人件費が急上昇中で、3,000円アップし、一日単価1万5千円の会社もある。運送業では、油の高騰により業績悪化しており、価格に転化出来ず苦戦している。</p>	<p>各種商品小売業 岩国市</p>
	<p>徳山駅南北自由通路（愛称 ぞうさんの散歩道）9月6日開通決定。一番近くに位置するみなみ銀座商店街の「ちびっ子七夕祭り」を皮切りに夏のイベントが開催予定。</p>	<p>各種商品小売業 周南市</p>
	<p>前年同月比で、4月売上高は▲5.2%となり、5月は+2.9%であった。6月24日までの速報値で6月は+2.1%となっている。4月には駆け込み需要の反動、消費税増税の影響があったと思われる。</p>	<p>各種商品小売業 山口市</p>
	<p>消費税増税の影響で、消費者の買い控えが止まらない。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>
	<p>4月以降は、売上、客数共に前年を下回り厳しい状況が続いているが、夏場に入ってからセール等で衣料品の売上増を期待している。</p>	<p>各種商品小売業 長門市</p>
商店街	<p>消費税増税に関しては、「仕方がない」と、落ち着いた様子だが、人通りも、駐車場の利用も減少気味。夏祭りに期待する。</p>	<p>山口市</p>
	<p>5月とあまり変わりはない。消費税8%から10%への増税は、消費者の消費活動を心理的に慎重にし、財布の紐を固くしている。逆にお金を持っている消費者には購買意欲があり、目新しい物へのニーズに備え在庫を増やした小売店もある。</p>	<p>萩市</p>
サービス業	<p>先月同様に、まだ、末端中小以下の企業には、景気回復の兆しささえ見られない。今後の動向に期待したい。</p>	<p>美容業</p>

<p>消費のスピードが鈍く、動きが悪い。安ければよしとする流れを変えていきたい。消費税増税分の転嫁については、組合員すべてではないが、対応できていないと思われる。それだけ業況が悪いということの表れ。</p>	<p>理容業</p>
<p>2014年度中にトヨタから、燃料電池車（FCV）の市販が開始される。水素ステーションの設置や車両価格の低価格化等の課題が多くあるが、国も支援することから、将来的には現在のハイブリッド車のように普及することも考えられる。</p>	<p>自動車整備業</p>
<p>消費税の反動による売上の減少は落ち着いてきているが、昨年より気候が涼しいため、季節変動部品の売上がかなり落ちている。今後の動向は、景気も関係するが、気温が上がらなければかなり苦しい状況となる。</p>	
<p>フィットネスジムでは、65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングでは、変りはない。</p>	<p>スポーツ・健康教授業</p>
<p>6月に入り宿泊客が減少、特に中体連、高体連の学生マーケットが大きく減少したのが要因と考えられる。一般客については、3～4%の落込みとなっている。</p>	<p>旅館業 山口市</p>
<p>6月も引き続き良くなく、前年を割っているところが多い。インバウンドも中国・韓国などから下関地区に来ているとは聞かない。両国とも様々な諸事情で観光客の送客が激減しているが、多くはないが、台湾の観光客は、下関地区には来ている模様。消費税増税の影響はジワリと重く感じる時がある。お客様より値段を確認する電話はあるが、それが予約に繋がらない。地域の行事・祭り等の寄付金も集まらないので、範囲を広げて声掛けをしているようで、このことから景気が悪いと感じる。経費も売上げに連動し落ちるのであればいいが、割高に感じている経営者の声が多く、人件費も上げなければ人材が集まらないような感じである等良い話題がない。アベノミクスも経済の活性化につながるような感覚がない。政治問題は、暗い話題に向かっているようで、観光の集客が期待薄である。夏季は良い方向になれば助かる。耐震問題等業界の抱えている問題は少なくないので、潤いのある状況に変化することを強く願っている。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
<p>6月は入浴者数は減少。販売単価の変更により売上高の減少はあるものの、営業利益については前年と大きな差はない。上半期については前年並み収益となった。</p>	<p>旅館業 長門市</p>

	<p>消費税増税により、食材を中心に仕入れ価格の上昇が続く割には、相変わらず、消費動向は上向いていない。差し障りの無いチェーン店での飲食が多く、地元の「食」を楽しむ様子は多くなく、先月同様に好転の兆しはない。山口県として、いろいろなイベントを展開しているが、それが山口県全体の景気を押し上げるほどの効果には至っていない。通常の運転資金、簡単な設備更新のため、公庫借り入れが、増加してきている。売上の上昇期待というより、じっと、状況に耐えているという感じ。いつまでも「里山」や「維新」で勝負しますか。視点の見直しが必要。</p>	飲食業
	<p>消費税増税による影響が現れてきた。例年ならこの時期のセール等で、まだまだクリーニング品が集まるどころだが、品物の点数も少なく、さっぱり効果が無いところもあるもよう。特に、衣替えの終わりと入れ替えのために、寝具類や敷物のクリーニングが多く集まる時期だが、今年の出足が悪い。また、原材料の値上げも定期的にある状況下で、利益も出しにくくなっている。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>中電への工事申請は5月172件（当支部分137件）、前年同月200件（同180件）。太陽光発電への申請21件、オール電化申請55件（前年は太陽光20件、オール電化35件）。LED街路灯への切替・新設申請は46件（前年78件）であった。</p>	電気工事業
	<p>工程遅れによる繁忙な状況であったが、現在は、落ち着いてきている。長く続いた不況により正規雇用をためらう会社が多い。採算は向上しているが、過去の欠損もあり、給与のアップは小幅なものになると思われる。</p>	左官業
	<p>若手労働者の確保が叫ばれているが、資金面と人員不足で、思うように進んでいない。柳井地区は現在、工事が少ない。岩国地区は工事が多い様子で、下請け工事に対応しようと思うが採算面がおりあわず、受注できていない。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>熊毛地域は、新規公共工事の受注は無い。</p>	土木工事業 周南市
	<p>26年5月の受注高は、対前年同月比で158%、今年度累計では、対前年比938%となっている。災害復旧工事が続いている。</p>	土木工事業 萩市
	<p>資材・燃料も値上がりをしているが、積算単価の見直しにより、発注金額もそれ相当の値上げとなったので、収益は改善されている。</p>	管工事業

運輸業	<p>輸送関係は、6月中旬頃から輸送量が減少してきた。容器素材の多様化に伴うスチール製品の減少、消費税増税の影響も一因であると思われる。輸出もやや下降気味で前年同月比は約40%の減となっている。中東産油国情勢悪化と円安による油価格の高騰で、中小輸送業者にとって6月は最大のピンチに見舞われつつある。油価格1.7円の値上がり。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>先月に続いて今月の輸送稼働も去年の水準を下回った。この傾向は引き続く様子で、下期は更に拡大の模様。燃料費も高止まりから上昇の方向にあり、5月末現在、前年同月比で8.4%上昇、6月分は更に上昇の見通し。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>燃料の高騰が止まらず、収益に多大な影響を与えている。しかしながら業界内で運送賃が値上がり傾向にあるのがプラス要素である。倉庫の荷物預かり案件は相変わらず多く、自社倉庫では足りず外部倉庫を借りて回している状態である。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>6月は天候が悪く輸送関係の売上は上がらない。燃料費が高騰する中、なぜ、上部団体の日本貨物協同組合やトラック協会が積極的に活動をしてくれないのか、20日を過ぎてやっと全国アンケートが行われるような状況に、組合員は動きが遅く、考え方を改めてほしいと強く思っている。トラック業者は、国民生活の大切な物資を運ぶ、重要な役目をしている。組合内では組合員の協力もありETC事業等も今月は良好である。</p>	一般貨物自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年比▲1.3%（平成26年5月1日～平成26年6月20日分）。5月1日～31日分は▲3.2%、6月1日～20日分は+1.7%となった。5月以降少し落ち込みが少なくなったように思うが、防府地区は前年より若干増加、周南が減少、光市地区と下松地区は周南よりも減少している。当地区のタクシー運賃は、消費税の増税分(108/105)ほぼ完全に変更になった。6月のチケット1枚当たりの単価は+4.3%となっており、増税分に加え、遠距離利用が若干増加しているものと思われる。燃料のLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、原油と異なり、ブタン、プロパンのCPは前月分よりもさらに下降し、タクシー会社の購入単価は先月よりさらに1%下がっている。しかし、前年6月分に比べ+4%と高値となっており、石油石炭税も上がったので、従来 of 価格に戻ることは難しいように思う。収入が減少（特に消費税控除後は大幅に減少）、燃料や車両等の費用が増加している状況に、タクシ</p>	一般旅客自動車運送業

	<p>一事業者の収益状況は苦しくなる一方で、乗務員の給与を上げる余裕も無い。7月に全国幼稚園教育協議会が周南市で開催される予定で、周南市観光交流課が応援している。夏祭りや「萌えサミット」等の行事も開催されるので、地域の活性化に期待したいと思う。</p>	
	<p>相変わらず、売上高が、低位のまま推移している。</p>	<p>港湾運送業</p>